

<p><b>提案者</b></p>	<p>美唄市、ポートヘフナー(株)、(株)コミクリ、(株)美唄未来開発センター、(株)美唄ハイテクセンター、北海道情報大学</p>		
<p><b>モデル類型</b></p>	<p>類型 A 及び類型 D</p>	<p><b>事業費</b></p>	<p>55,150千円 (うち、補助申請額40,000千円)</p>
<p><b>実施地域</b></p>	<p>北海道美唄市</p>	<p><b>移動人数</b></p>	<p>2人(長期派遣1名、移住1名)</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>都市部からの仕事の流れを創出して、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の提供やテレワーク拠点を整備することで、ワーク・ライフ・バランスの向上を図り地域の活性化に繋がります。さらに、女性や障がい者などに配慮した多様な仕事を確保し、子育て環境や居住環境が充実した美唄(地方都市)への人の移動を促進するほか、地域資源の活用や他地域との広域連携などにより、持続可能なテレワークの仕組みを構築するとともに、コンソーシアムを構成する産学官のそれぞれの強みを活かし、都市部から「人」と「しごと」を美唄市に還流させて、全国の地方創生を牽引する先駆的なモデルとなる「ふるさとテレワーク」を実現します。</p>		

